

ウィズコロナ時代における大阪大学の新・活動基準の目安（令和2年11月19日～12月31日）

は11月19日以降の行動基準レベル

は大阪モデル「非常事態（赤色）」点灯時に実施する可能性がある行動基準レベル

				レベル									
				0	0.3	0.5	1	2	2.5	3	4	5	
				100%			～70%	～50%		～30%	～10%	9%～	
授業	入校	学部生	1年	特に制限無し	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・受講生のアクセスポイント利用は登校可	-	・実習・実験受講生のみ登校可 ・受講生のアクセスポイントは利用可	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖
			2年										
			3年										
			4年										
			5年										
	6年												
	院生	修士	特に制限無し	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・アクセスポイント利用は登校可	・授業の受講生は入構可 ・受講生のアクセスポイント利用は登校可	-	・実習・実験受講生のみ登校可 ・受講生のアクセスポイントは利用可	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖	・登校停止 ・アクセスポイント閉鎖
		博士											
	教員		特に制限無し	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	授業での入校可	-	授業での入校可	メディア授業のための入校可	登校停止
	形態	講義	メディア	メディア授業の積極的利用	メディア授業の積極的利用	メディア授業主体	メディア授業主体	メディア授業主体	メディア授業主体	-	メディア授業が標準	メディア授業のみ	実施可能なメディア授業のみ
対面式			要配慮者への対応を前提に実施可	・要配慮者への対応を前提に実施可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目（3年次以上）及び、大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目（3年次以上）及び、大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員50%以下で実施	・申請による許可 ・室定員50%以下で実施	-	停止	停止	停止		
実習・実験・演習		要配慮者への対応を前提に実施可	・要配慮者への対応を前提に実施可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目及び大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員2/3以下で実施	・学部専門科目及び大学院の科目は可 ・上記以外は申請による許可 ・室定員50%以下で実施	・申請による許可 ・室定員50%以下で実施	-	・実習・実験については申請による許可 (国家資格等延期不可能なものに限る) ・室定員50%以下で実施	停止	停止			
研究	入校	学部生	特に制限無し	-	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	研究室での同時登校数を7割に制限	-	登校停止 研究室での同時登校数を5割以下に制限	登校停止 新型コロナウイルス研究のための登校可（同時登校5割以下）	登校停止	
		院生											
		博士											
	教員	特に制限無し	-	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	・特に制限無し ・研究室の滞在時間をできるだけ短く	研究室等において、交代制勤務の導入による登校者数の制限	-	必要最低限の登校可	・新型コロナウイルス研究のための登校可 ・研究資産維持のための短時間登校可	研究資産維持のための短時間登校可		
	活動	研究・実験作業	要配慮者への対応を前提に実施可	-	要配慮者への対応を前提に実施可	要配慮者への対応を前提に実施可	要配慮者への対応を前提に実施可	新たに開始する実験の制限	-	継続中の実験の中断処理のみ	新型コロナウイルス研究以外の実験活動停止	学内での実験活動停止	
ゼミ等		要配慮者への対応を前提に実施可	-	オンラインを推奨するが、室定員2/3以下で対面形式も可	オンラインを推奨するが、室定員50%以下で対面形式も可	オンラインを推奨するが、室定員50%以下で対面形式も可	オンラインのみ	-	オンラインのみ	オンラインのみ	オンラインのみ		
フィールドワーク	行政による移動制限等を考慮	-	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政の自粛要請に従う	-	行政の自粛要請に従う	停止	停止			
事務	テレワーク等	適用可	-	-	テレワーク30%程度	テレワーク50%程度（2チーム）	-	-	テレワーク70%程度	危機管理要員と施設維持要員のみ入校	施設維持のための最低限の要員の短時間入校		
	時差出勤	適用可	-	-	推奨	推奨	-	-	積極的利用	積極的利用			
会議・イベント	学内	対面式	規模	人数制限無し	-	・会議は室定員2/3以下で実施 ・イベントは室定員50%以下で実施	室定員50%以下で開催	・室定員50%以下で開催 ・陪席を含め100名以下	-	積極的利用 ・室定員50%以下で開催 ・陪席を含め20名以下 ・危機管理系会議は20名超可 ・入試委員会等特殊会議は申請による許可	・室定員50%以下で開催 ・危機管理系会議のみ可	停止	
			内容	制限無し	-	制限無し	制限無し	制限無し	制限無し	制限無し	危機管理系のみ	停止	
		オンライン形式	選択可	-	推奨	推奨	推奨	主体	-	標準	原則オンラインのみ	オンラインのみ	
	学外	主催	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	-	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	全国の蔓延状況や行政による規制等を考慮	行政の自粛要請に従う	-	行政の自粛要請に従う	停止	停止	
		参加	行政による移動制限等を考慮	-	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政による移動制限等を考慮	行政の自粛要請に従う	-	行政の自粛要請に従う	停止	停止	
共同利用インフラ	図書館	特に制限無し	-	-	座席配置変更による入館者数の制御	学外者入館の制限	-	-	閲覧室使用停止	・窓口業務の停止 ・宅配サービス	施設維持のための要員の短時間の入館		
	commons	特に制限無し	-	-	座席配置変更による利用状態の制御	利用者数の制限	-	-	使用停止	使用停止	使用停止		
	学内連絡バス	通常運行	-	-	乗車数制限（低）	乗車数制限（高）	-	-	運行数調整	運休	運休		
課外活動		感染防止策の策定	-	-	キャンパス内外での屋内集会の禁止	活動内容により一部許可	・活動内容により一部許可 ・飲食を伴う会合の禁止	-	非接触、用具共用のない屋外活動の許可	屋外での個人練習のみ許可	全面停止		
学外者の入校		特に制限無し	-	-	不要不急の入校自粛の要請	不要不急の入校自粛の要請	-	-	大学からの要請以外の入校禁止	大学からの要請以外の入校禁止	禁止		